

ポーランドのクラコフという歴史の古い都市に所用があり、市内を見学しました。途中にユダヤ人のゲットー（ユダヤ人が隔離された居住区）の跡があり、多数のユダヤ人が集められ、外との連絡は完全に断たれたことや、ここから多くのユダヤ人が「絶滅収容所」へ送られるなどして、6千人ものユダヤ人が犠牲になったという説明がありました。実はゲットー内に密かにユダヤ人からなる抵抗組織が作られていたそうですが、蜂起には至らなかったそうです。

少し行くと広場があり、そこに金属様の無人の椅子が30ほど置かれていました。「多くの人々が命を失ったことをどのように表現しようか」ということから、このようなモニュメントが作られたそうです。



ゲットーに集められた何千人もの人々が殺されたという説明を聞いた時に、強い驚きと、「なぜ」という疑問が沸き起こりました。自分でもびっくりするほどの衝撃でした。ナチスのことやユダヤ人虐殺については、映画を見、本な

「他の人々の人権」

どで読み、深刻であったことをある程度知っているつもりでした。しかし、一つのゲットーの数年の歴史、しかも概要だけでも、どれだけ大変で深刻なことであつたのかを、自分はほとんど知らなかったし、実感していなかったということを思い知らされました。

戦争や虐殺は最も深刻な人権侵害です。世界的にも有名なこの事例ですら、その状況にいない人が深刻さを理解するということはとても難しいと思いました。人権の大切さを語ることがありますが、他の人が人権を侵害されるとどんなに苦しく大変かを理解するのはとても難しいと思います。女性と男性、他の国の人々、高齢者と若者など。他の集団のことは「わからない」「どうでもいい」と思いかもしれません。けれど、そう思っていると、実は自分たちの人権も危なくなってしまうのです。

自分以外の人々の人権を理解し、敏感になるにはどうしたらいいのでしょうか。答えは出ませんが、偏見なく事実に関心を持ち行動が大切ではないかと思えます。皆さんはどう思われますか。

お問い合わせは

人権啓発広報委員会

（ 880・6569 ） まで